

**東彼杵町新庁舎整備に係る基本設計作成等業務委託**  
**第 2 回 東彼杵町振興懇話会（新庁舎整備外部有識者会議）**  
**議事要旨**

委託者名	東彼杵町	受託者名	株式会社 長大
件 名	東彼杵町新庁舎整備に係る基本設計作成等業務委託		
出席者 (敬称略)	東彼杵町 (HS)	高月総務課長、松添総務課係長	日 時
	長大 (C)	岡本、山田、吉田、松林、須長、本村 (理事)	R7 年 3 月 17 日(月) 14 : 00 ~ 15 : 30
			場 所
			町総合会館
			会議方式
			2 階大会議室
議題	1. 地区町政懇話会での主な質問、回答について 2. 配置ゾーニング図、平面プラン、構造種別について		
協議資料	地区町政懇話会資料 (資料 1) 地区町政懇話会での主な質問・回答について (資料 2) 配置ゾーニング (資料 3-1) 平面プラン (資料 3-2) 構造種別 (資料 3-3)		
受領資料			

■ 議事次第

- 1 開 会
- 2 説明事項
  - (1) 地区町政懇話会での主な質問、回答について (資料 1.2)
  - (2) 配置ゾーニング図、平面プラン、構造種別について (資料 3)
- 3 その他
  - (1) 第 3 回東彼杵町振興懇話会（新庁舎整備外部有識者会議）の開催について
- 4 閉 会

■ 議事要旨

**1. 地区町政懇話会での主な質問、回答について**

地区町政懇話会で挙げた主な質問とそれに対する質問について説明を行った。  
議事事項なし。

**2. 配置ゾーニング図、平面プラン、構造種別について**

現時点での新庁舎の基本的な計画について説明を行った。

以下、議事事項である。

委員 : 足の不自由な方や車椅子利用者に配慮したエレベーターの配置としてほしい。

事務局 : ご意見踏まえ検討する。

委員 : コワーキングのスペースに会議室を設けてはどうか。各課の会議室が少ない印象である。

事務局 : プース型の小会議や面談スペースを複数箇所検討しており、可動式の仕切りで閉塞感を抑えることを想定している。

委員 : 面接等に利用可能な相談室等の個室を施設の奥に設置してほしい。

委員 : 議場（一時避難所）が 2 階にある、第 2 案の方が災害時の安全性を考慮すると良いと考える。

委員 : 夜間の出入り口付近に守護室が必要と考える。

委員 : 建物の形状（円弧）によって無駄なスペースが生じているのではないかと懸念している。

事務局 : 正面から見た建物の形状は、そのぎ茶のイメージを屋根で表現する想定である。また、柔らかいイメージを与えることを意図している。形状による建設費用の増加については重要な課題として今後検討していく。

委員 : 太陽光発電設備などの将来的な導入を見据えた設計が必要と考える。

事務局 : 省エネ、再エネに関する設備を検討しており、将来対応できるような設備を検討する。

委員 : コワーキングスペースは町民に対して有料にて貸出等を想定しているのか。

事務局 : 町民に開かれた庁舎として、コワーキングについては町民が自由に使用できることを想定している。

委員 : 平面プラン（資料 3-2）のスケールの誤り（A3 : 縮尺 1/400）について指摘。

委員 : 第 1 案と第 2 案で面積に差があるが、各部署の必要面積は確保できる想定か。

委員 : 第 2 案の窓口幅で 4 課の機能が十分に対応できるか危惧している。

事務局：窓口レイアウトは詳細を検討しており、外向きのカウンターを減らし効率化を図っていると説明。第2案は待合ロビーを兼用できるため空間が縮小できる想定である。

委員長：DX推進によって窓口等の省スペース化も想定しているか。

事務局：オンライン窓口などを検討し、カウンターを減らしていく方向で協議中。DX推進については別途専門業者と契約し、コンパクト化を図る想定である。

委員：第2案の吹き抜けは無駄ではないか、職員が使えるスペースを確保すべきと考える。また、屋根からの採光による冷暖房費の増加を懸念している。

事務局：事業費抑制のため縮小を検討しており、吹き抜け等も対象となる想定。ただし、吹き抜けは上下階の機能認知に役立つという意図もある。

委員：空調方式について現時点での想定はあるか。

事務局：空調方式については、床下方式・ビルマルチタイプの空調方式などを検討している。居住空間に必要な空調を効率的に行うこと想定している。

委員：床下空調とのことであるが、災害（水害）の影響も考慮してほしい。

委員：シーリングファンの設置による室温の均一化等も検討してほしい。

委員：各課の執務スペースと会議スペースが近い方が良いのではないか。

事務局：執務スペースの奥にミーティングテーブルを計画している。カウンター形式での立ち話ミーティングスペースも検討している。

事務局：職員への意向調査では、窓口の一元化、災害時の安全性等の理由から第2案が良いという意見が多かった。個室相談スペースの要望もあった。

委員：想定している駐車台数は適正であるのか。

事務局：過去の来庁舎データから必要な駐車場数を算出しているため、十分であると考えている。

委員：駐車台数は利用者と職員合わせた台数であるか。

事務局：職員の駐車台数も含む。スクールバスの駐車場も今後検討する必要がある。

委員：現在、総合会館の利用の際、一部体育館駐車場を利用している状況である。その点も踏まえ駐車台数は検討してほしい。

委員：国道側に正面玄関を設けた方が、分かりやすく良いと考える。

事務局：全面道路との高低差により国道側に正面玄関を設けにくい状況である。正確な測量図がまだ上がってきていないため、今後検討する。

委員：内装に木材を積極的に使用し、温かみのある空間としてほしい。構造の組み合わせは想定していないか。

事務局：構造はある程度特定する必要がある。ハイブリッド構造も実在するが、新庁舎の規模で実施するとコストが上がる。仕上げには地元木材を積極的に採用したいと考えている。

委員：現時点での17億円の予算は余裕があるのか、今後の建設費高騰に対応できるのか。

事務局：基金を積み立てている状況である。また、地方債の活用も想定しており、17億円以内に抑える必要がある。DX推進も含めコンパクトな新庁舎とすることを想定している。

委員：基金を取り崩して建設することへの反対意見はどのような状況か。

事務局：一部の地区で反対意見があったものの、町民全体としては建設に賛成する意見が多い。

委員：長崎は雨が多く、風も強い。また、本敷地は海の近くであるため、気候条件を考慮した設計としてほしい。

事務局：今後の設計を進めるにあたり、構造の方向性をRC造または鉄骨造とする方向で良いか。

各委員：良い。

事務局：構造の方向性を固め、今後の準備を進めたい。

### 3. 第3回東彼杵町振興懇話会（新庁舎整備外部有識者会議）の開催について

事務局：次回は5月以降を想定している。答申案について確認する予定。その後、町長への答申を経て、設計を進める。

以上